

エコアクション21 環境活動レポート

平成30年8月1日

平成29年7月1日～平成30年6月30日迄



エコアクション21

認証番号0000839



株式会社ミカサ

〒390-0836

長野県松本市高宮北4-2

TEL 0263-25-1500

FAX 0263-27-3705

環境方針

株式会社ミカサは、工業用品、環境用品、梱包資材の販売及び緩衝材の開発・設計・製造していることを踏まえ、私達の出来る最大限の環境活動を実施します。

「**限りある資源**」この言葉を再度認識し、私たち子孫の時代に資源を引き継ぎ、自然環境を守り、さらには地球全体の環境の為に、継続的に環境活動を行います。

- 1、当社の事業活動が地球環境に与える負荷を評価し、技術的、経済的に可能な範囲で環境目標・活動計画を定めて、環境経営の継続的な向上に努め、積極的な環境保護活動を行います。
- 2、環境に関連する法令や規制及びその他の要求事項を遵守し、利害関係者の見解に配慮します。また、これからは必要に応じて当社の自主基準を定め管理します。
- 3、当社の事業活動で環境負荷が以下の改善に努めます。
 - ① 消費エネルギーを削減し、二酸化炭素排出量抑制／削減に努めます。
 - ② 工程から排出される廃棄物の
3R（リデュース、リサイクル、リユース）を取り組みます。
 - ③ 環境負荷の少ない製品の開発、設計に努めます。
 - ④ 生物多様性保全に取り組みます。

2005年 7月 1日 : 初版制定

2010年 9月 30日 : 2版制定

代表取締役社長

三澤 敏宏

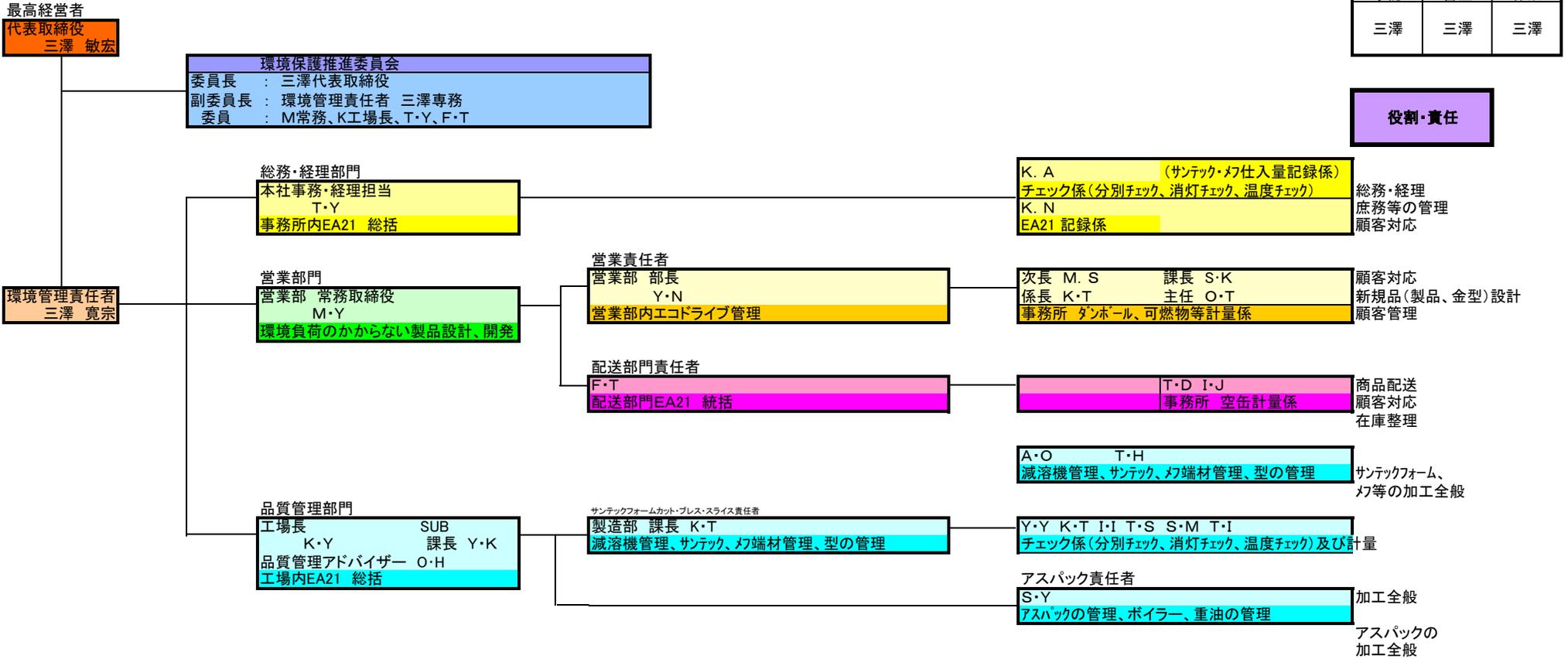
目次

1.	会社概要と対象範囲(認証・登録範囲)	1 P
2.	組織図	2 P
3.	環境目標及び環境活動計画	3 P
4.	主な取組の実績	4 P
5-1.	環境活動とその結果(ガス使用量、灯油使用量)	5 P
5-2.	環境活動とその結果 (ガソリン・軽油使用量、重油使用量)	6 P
5-3.	環境活動とその結果 (コピー用紙使用量、温室効果ガス推移)	7 P
5-4.	環境活動とその結果(電気使用量、上下水道使用量)	8 P
6.	減溶チップ、産廃金額経年変化のグラフ (H23~H28)	9 P
7.	E A 2 1 経年変化のまとめグラフ (H17~H28)	10 P
8.	防災訓練レポート	11 P
	防災訓練レポート 2	12 P
9.	環境関連法規への違反、訴訟の有無	13 P
10.	活動の見直し	14 P
11.	代表者コメント	14 P

1. 会社概要と対象範囲(認証・登録範囲)

事業者名	株式会社ミカサ
代表者名	代表取締役社長 三澤 敏宏
所在地	長野県松本市高宮北4-2
環境管理責任者 / 担当者 / 連絡先	取締役専務 三澤 寛宗 同上 TEL 0263-25-1500 FAX 0263-27-3705 e-mail hiromune-misawa@mikasa-nagano.co.jp
社内 E A 21 E M S 事務局 / 連絡先	松本市高宮北4-2 (株)ミカサ総務部内 TEL 0263-25-1500 FAX 0263-27-3705 h-page http://www.mikasa-nagano.co.jp e-mail hiromune-misawa@mikasa-nagano.co.jp
事業の内容	旭化成工業株式会社製品の加工、販売 包装資材の販売 包装機械の販売 工業用品の販売 清掃用品及び消耗品の販売
事業の規模	従業員数 27名(パートも含む) 本社／長野県松本市高宮北4-2 工場／長野県松本市井川城1-4-7 床面積 2355m ²
E A 2 1 対象範囲 (認証・登録範囲)	全組織 (本社・井川城工場) ・全活動

2.組織図



環境目標及び環境活動計画

作成責任者 三澤 H29.7.1

赤字：環境目標（数値他）

青字：環境目標及び環境活動計画

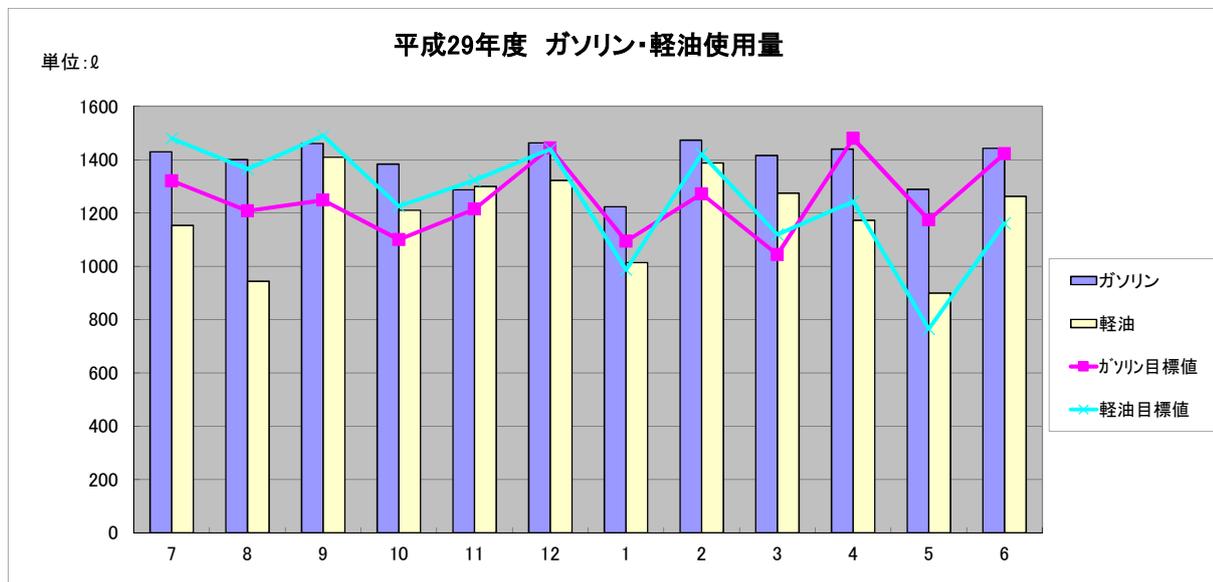
	短期目標及び環境活動計画(H29.7.1～H30.6.30)	中期目標及び環境活動計画(H29.7.1～H31.6.30)
①廃棄物排出量の削減及び3R	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物排出量前年比1%削減（15.9 t） 減容率を前年比（H28.7.1～H29.6.30 15,160kg）に対し5%UP（15,918 k g）。（不良品、取り過ぎ材料を作らない） メフやその他加工品端材はフロンテアスピリット E・P・S様に産業廃棄物として処理する。 フロンテアスピリット E・P・S様よりRPF（固形燃料）として処理される。 かがが、雑誌、新聞、ダンボール、シュレッター屑等はヤマカ資源回収様に有価で引き取って頂く。紙は有価物であり簡単にゴミ箱へ入れない様徹底する。 コピー用紙前年度比2%削減。（事務所 29,500枚 工場 6,985枚） サテック、メフ等使用できる端材は破棄しない。不良品率を下げ、無駄なゴミを出さない。 廃掃法に従った廃棄物処理を行う。（毎年の契約書、その都度の業者の許可証のコピーを取り寄せ、マニフェストの発行と管理、実際の追跡） 	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物排出量前年比3%削減（15.66 t） メフのマテリアルリサイクル化を考案。 減容率を前年度比10%UPをめざす。（16,676 k g） 紙類のリサイクル率を上げ可燃物量の削減を実現する。 コピー用紙平成22年度比5%削減。（事務所 28,597枚 工場 6,771枚）
②二酸化炭素排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 前年も二酸化炭素排出量もUPLしてしまつた。（平成19年度中部電力実排出係数0.47(kg-CO2/kWh） 今年度も前年比5%削減に取り組む。（125,704Kg-CO2） エアコンの室内温度は、夏28℃、冬23℃に設定。 ストーブは基本温度は23℃に設定。前年度は過去最高量を消費してしまつた。（こまめな温度調整をお願いする。） 昼食時の消灯。 使用していない場所の電気、エアコンを消す。 使用していない機械の電源を切る。 アイドリングストップ 急発進、急停車の禁止。（エコドライブの徹底） 前年燃費に対し3%UPを目標とする。（各車両ごと） 不必要な残業禁止（夕例により管理する。工場） 社内に拘らず、社外に対してもカーブス、ウォームヒースの推奨をお願いする。 社外に対しCO2削減をお願いする為、弊社敷地内でのアイドリング禁止をお願いする。 松本市花いっぱい運動への寄付によりCO2削減を外部組織との協働実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 二酸化炭素排出量を平成20年度比50%削減する。（133,790Kg-CO2） 社内蛍光灯の総LED化推進。 アイドリングストップ、効率の良い運送経路の実現。（コトライクの実施） エコカーへの乗り換え推進。 H21平均燃費に対し5%UPを目標とする。次期車両の選定。（各車両ごと） 引き続きお願いする。 引き続きお願いする。 引き続き参画。
③水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 節水の継続的取り組み。（269m） （増加傾向がある為、蛇口の閉め忘れ等十分注意する） 	<ul style="list-style-type: none"> 節水の継続的取り組み。（269m）
④化学物質の管理	<ul style="list-style-type: none"> 化学物質を適正に管理する 	<ul style="list-style-type: none"> 化学物質を適正に管理する
⑤法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> 環境法令の調査、リスト作成および関係法令の周知。（環境基本法～） M S D Sを会社で管理・社員に周知・対策検討。 防災検査結果の確認。 フロン排出抑制法対策。（エアコンの簡易点検実施） 	<ul style="list-style-type: none"> 法令の調査、リスト作成および関係法令の周知及び順法の徹底。 緊急時の訓練を年1回実施する。 環境教育の推進。
⑥環境教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 環境ミーティングを実施。 生物多様性保全の探求の結果、弊社としての具体的な取り組みは3Rの推進であると再確認。サテックホームのフッ素化によるリサイクル（工場）、通い箱の提案によるリユース（営業）紙ごみのリサイクル（全体）、コピー-数の削減リユース（全体）。 5S3定の徹底。 	<ul style="list-style-type: none"> 社員の意識を高め、無理・無駄をなくした環境経営を確立する。 継続的な取り組みにより生物多様性保全への貢献。 5S3定の徹底。
⑦環境負荷の少ない商品の購入、開発	<ul style="list-style-type: none"> サテック、メフ等の設計時には歩留まりを考え、無駄の少ない設計を行う。 商品開発をすすめる、「通い箱」などを提案・普及に努める。 グリーン購入の推進。 	<ul style="list-style-type: none"> サテック、メフ等の設計時には歩留まりを考え、無駄の少ない設計を行う。 商品開発をすすめる、「通い箱」などを提案・普及に努める。 分別しやすい設計を行う。 リサイクルマークを付ける設計を心がける。 自然素材の包装材の開発。 グリーン購入におけるリストの作成。

5-2環境活動と結果（ガソリン・軽油使用量、重油使用量）

環境目標：前年比5%削減

単位：ℓ

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
ガソリン	1,428.96	1,399.85	1,460.08	1,383.21	1,286.41	1,462.91	1,223.28	1,472.99	1,415.61	1,439.03	1,288.16	1,442.21	16,702.70
ガソリン目標値	1,320.51	1,207.76	1,247.40	1,100.02	1,214.20	1,444.13	1,093.93	1,271.39	1,043.71	1,478.86	1,173.62	1,421.85	15,017.38
評価	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×
軽油	1,153.25	943.42	1,408.93	1,209.94	1,299.30	1,321.64	1,013.34	1,387.29	1,273.96	1,172.37	898.92	1,262.21	14,344.57
軽油目標値	1,478.58	1,364.21	1,489.33	1,225.14	1,322.52	1,439.06	986.42	1,420.57	1,118.92	1,242.59	764.85	1,161.05	15,013.26
評価	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	×	○

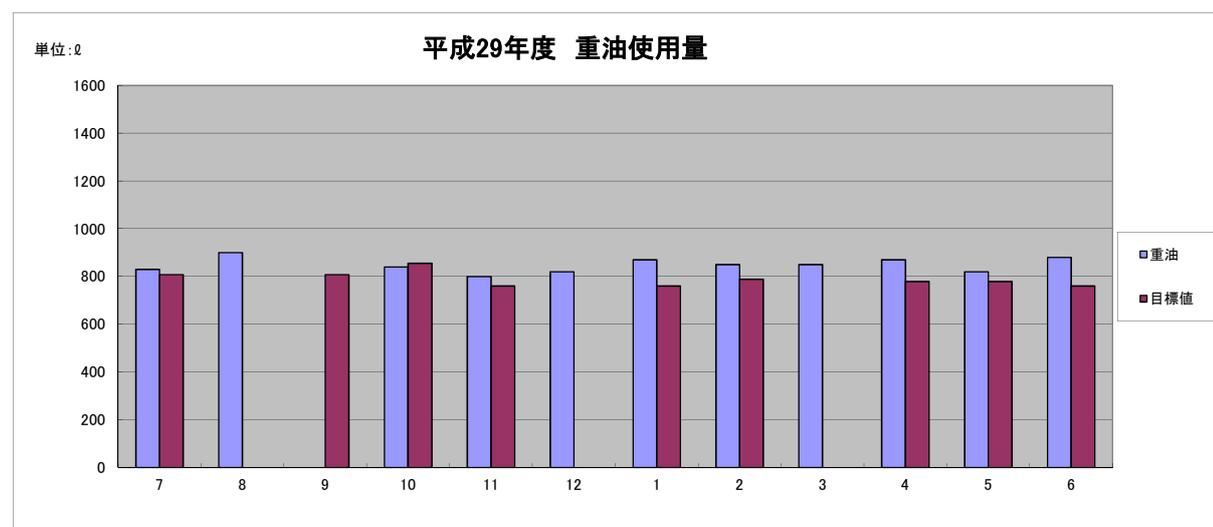


- ・軽油は配送の努力のおかげで目標達成となり感謝である。
- ・ガソリンは営業車が一台増えたことにより目標達成には程遠い数字であった。

環境目標：前年比5%削減

単位：ℓ

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
重油	830	900	0	840	800	820	870	850	850	870	820	880	9,330
目標値	808	0	808	855	760	0	760	789	0	779	779	760	7,097
評価	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×



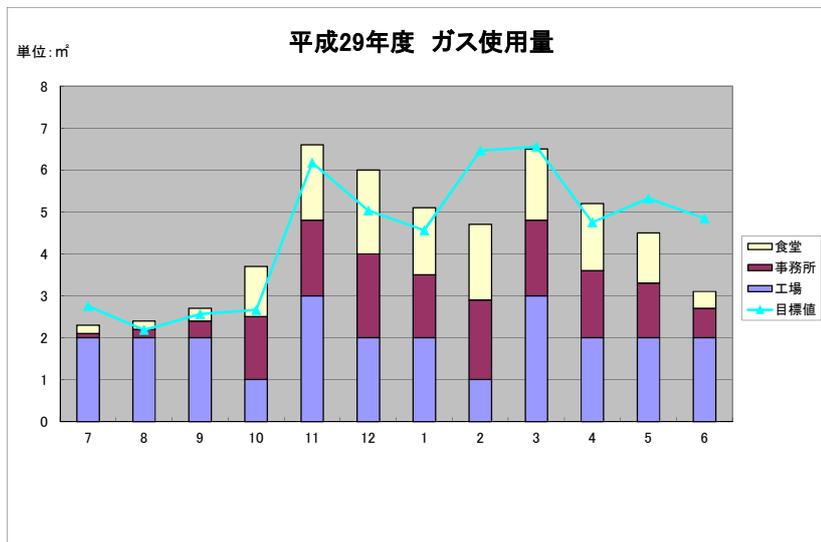
- ・前年度は3,822袋、今年度は3808袋とほぼ同数の売上であったが、重油使用量だけが増えてしまっている。
- ・アスバックの在庫や重油の残は考慮していないが、前年よりも1,860ℓ増えているのは明らかに問題であり原因究明の必要である。
- ・90倍発泡品が多くなった事や、ボイラーの老朽化も原因の一つかもしれない。

5-1環境活動と結果(ガス使用量、灯油使用量)

環境目標：前年比5%削減

単位：m³

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
工場	2.0	2.0	2.0	1.0	3.0	2.0	2.0	1.0	3.0	2.0	2.0	2.0	24.0
事務所	0.1	0.2	0.4	1.5	1.8	2.0	1.5	1.9	1.8	1.6	1.3	0.7	14.8
食堂	0.2	0.2	0.3	1.2	1.8	2.0	1.6	1.8	1.7	1.6	1.2	0.4	14.0
合計	2.3	2.4	2.7	3.7	6.6	6.0	5.1	4.7	6.5	5.2	4.5	3.1	52.8
目標値	2.8	2.2	2.6	2.7	6.2	5.0	4.6	6.5	6.6	4.8	5.3	4.8	53.9
評価	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○

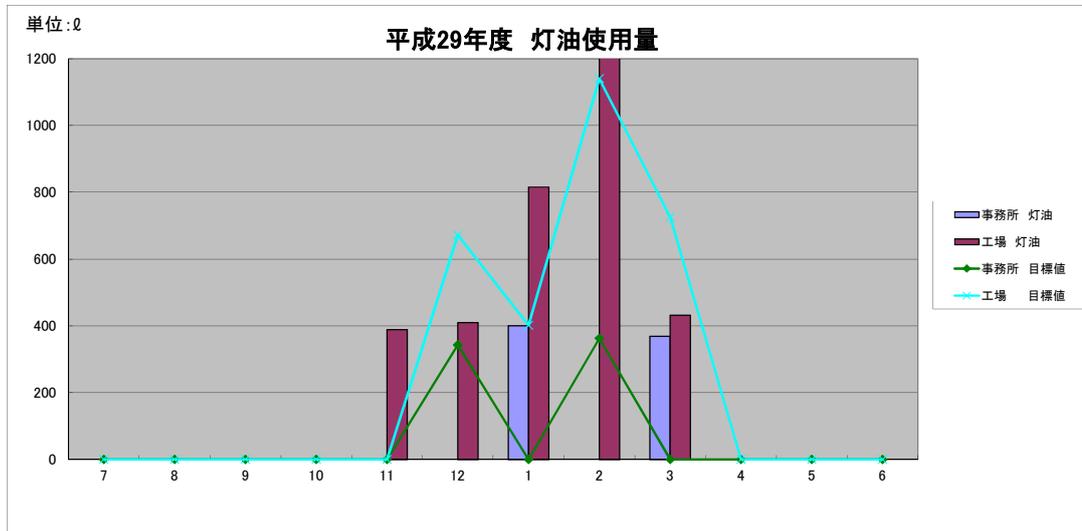


・皆さんのおかげで2年連続目標達成となり感謝である。
この調子で来期も目標達成できるようにお願いしたい。

環境目標：前年比5%削減

単位：ℓ

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計	評価	事務所+工場	総合評価
事務所 灯油	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	400.0	0.0	369.0	0.0	0.0	0.0	769.0	×		
工場 灯油	0.0	0.0	0.0	0.0	389.0	410.0	816.0	1,205.0	432.0	0.0	0.0	0.0	3252.0	×	4021.0	×
事務所 目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	343.2	0.0	362.6	0.0	0.0	0.0	0.0	705.9			
工場 目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	672.6	401.9	1,141.0	724.9	0.0	0.0	0.0	2,940.3		3646.1	



・今年度も目標達成には至らなかった。
工場では前年よりも2ℓ少なかったが、尚も高値をキープしてしまった。減らす努力をお願いしたい。
事務所では、灯油タンクに半分以上残があり前年の残に左右される。給油のタイミングが難しい。
温度設定に問題はないか？暖かい日にもかかわらず惰性で使用していないか？不在な場所で点けっぱなしにしているか？
来期は考えられる想定をすべてクリアして目標達成を目指してほしい。

5-3環境活動と結果（コピー用紙使用量、温室効果ガス推移）

環境目標：前年比2%削減

ミカサ工場

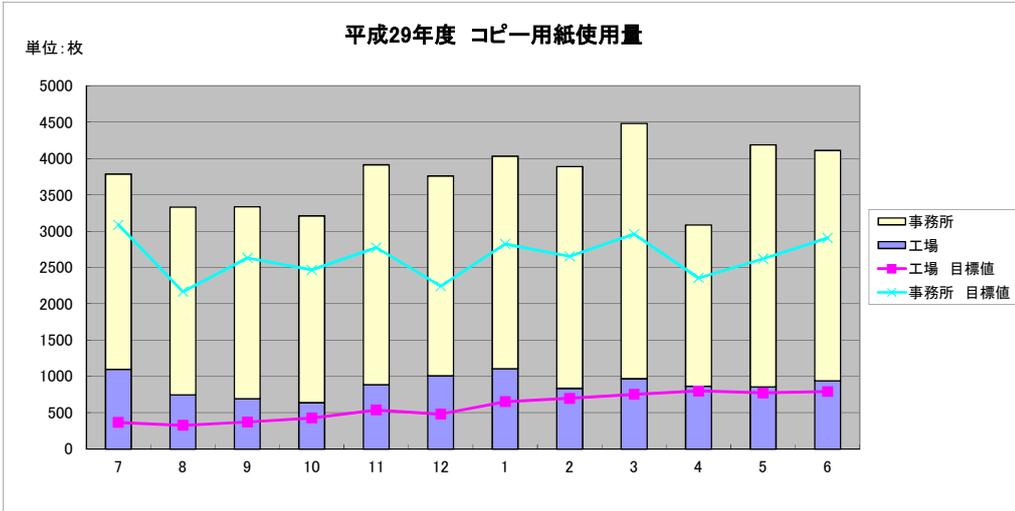
単位：枚

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
工場	1,096	745	693	638	888	1,008	1,107	835	970	864	858	938	10,640
工場 目標値	367	327	372	428	538	482	652	699	754	800	774	793	3,493
評価	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

ミカサ事務所

単位：枚

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
事務所	2,689	2,587	2,643	2,571	3,026	2,752	2,924	3,053	3,512	2,220	3,331	3,173	34,481
事務所 目標値	3,087	2,167	2,633	2,468	2,775	2,244	2,823	2,654	2,961	2,354	2,619	2,908	31,211
評価	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×

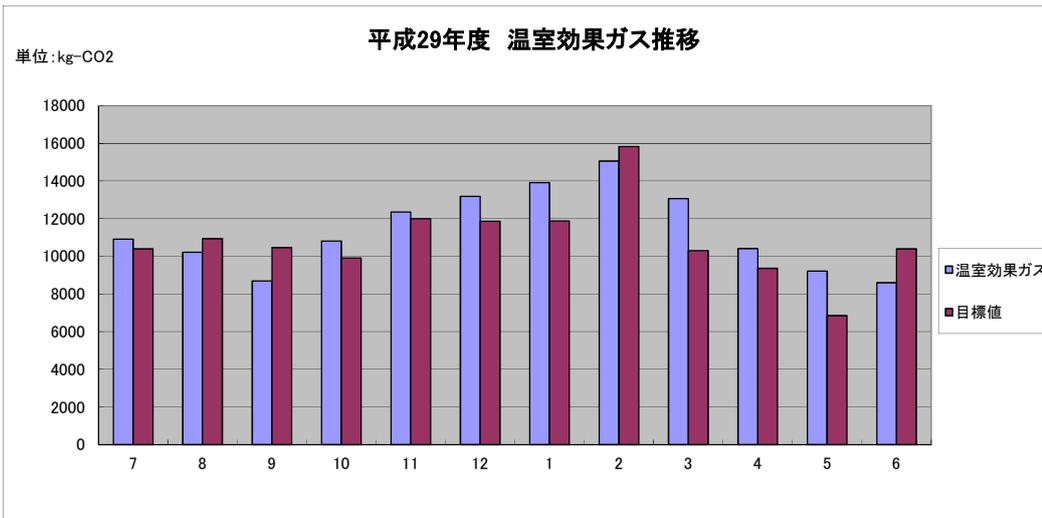


- ・目標達成には程遠い数値である。
- ・イメージウェアを最大限活用し無駄な印刷を無くしていかないと増加に歯止めがかからない。
- 今後、「モニターを2台使用し印刷を抑える事が出来る」かも検討していく必要がある。

環境目標：前年比5%削減

単位：kg-CO2

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
温室効果ガス	12,010	8,950	11,184	10,545	12,743	12,321	12,759	10,592	9,197	12,011	8,802	11,205	132,320
目標値	10,394	10,937	10,458	9,911	12,001	11,857	11,870	15,823	10,298	9,352	6,854	10,391	130,144
評価	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×



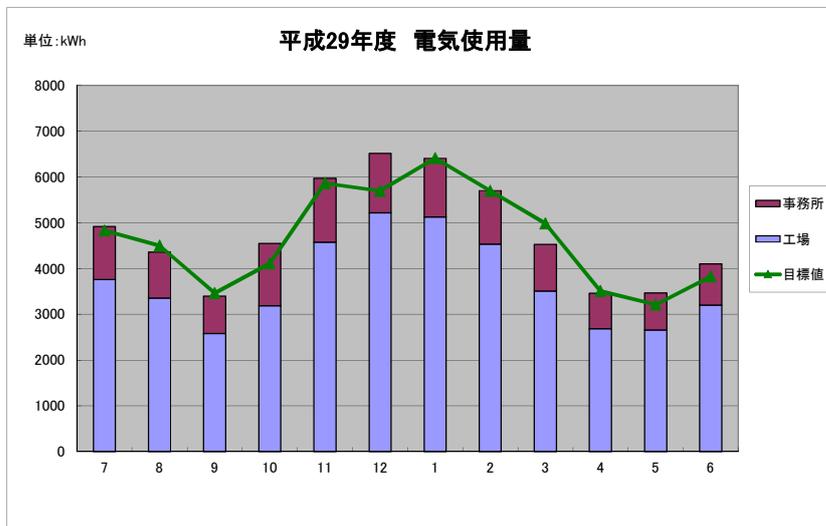
- ・目標達成には至らなかった。+6,258Kg-CO2となり、月で均すと+521Kg-CO2である。
- ・冬場の灯油使用料が気になる所であるが繁忙の年であった事を考えると致し方ないとも言える。
- ・CO2削減はE A 2 1の肝である事を理解し、来季こそは目標達成に向け努力してほしい。

5-4環境活動と結果(電気使用量、上下水道使用量)

環境目標：前年比5%削減

単位：kWh

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計	評価
工場	3,759	3,353	2,580	3,184	4,576	5,218	5,124	4,531	3,507	2,682	2,655	3,203	44,372	X
前年工場	4,029	3,663	2,756	3,131	4,656	4,761	5,541	4,825	3,989	2,819	2,601	3,063	45,834	X
事務所	1,156	1,006	817	1,363	1,392	1,294	1,283	1,169	1,015	776	810	893	12,974	X
前年事務所	1,055	1,071	888	1,196	1,513	1,232	1,208	1,173	1,255	872	776	963	13,202	X
工場+事務所	4,915	4,359	3,397	4,547	6,169	5,993	6,749	5,998	5,244	3,691	3,377	4,096	58,535	X
目標値	4,830	4,497	3,462	4,111	5,861	5,693	6,412	5,698	4,982	3,506	3,208	3,825	56,084	
評価	X	○	○	X	X	X	X	X	X	X	X	X		

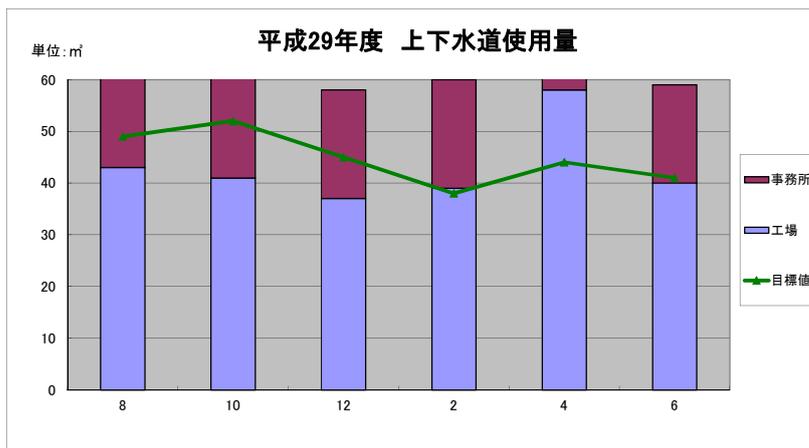


- ・5%削減の目標達成には至らなかったが、工場では約3% 事務所では約1.7%の削減となった。
- ・工場の繁忙を考慮に入れると工場の3%削減はL E Dの効果が大きく反映したものと考えられる。
- ・来期はL E Dの恩恵がなくなるので残業時間の削減など、抜本的な対策が必要と思われる。

環境目標：節水の継続的な取り組み

単位：m

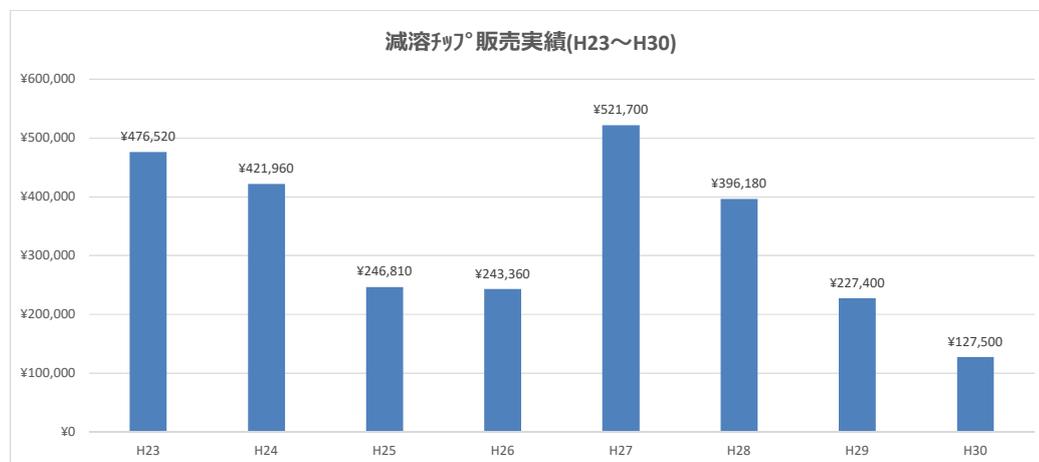
	8期	10期	12期	2期	4期	6期	合計
工場	43	41	37	39	58	40	258
事務所	21	21	21	21	20	19	123
合計	64	62	58	60	78	59	381
目標値	49	52	45	38	44	41	269
評価	X	X	X	X	X	X	X



- ・1 1 2 m増えてしまった。特に4期の工場が前年36mに対して58mと+22mと突出して増えている。
- ・人員増加の影響とも思われるが、それにしても過多感否めない。

6.減溶チップ、産廃金額経年変化のグラフ（H23～H30）

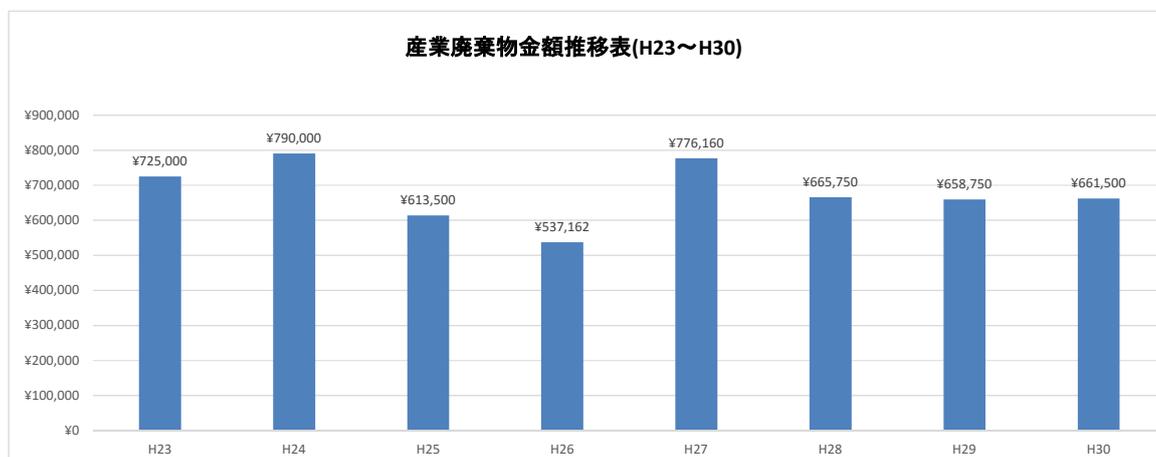
減溶チップ環境目標：前年比5%アップ



	金額	減容量 (kg)
H23	¥476,520	16,600
H24	¥421,960	14,350
H25	¥246,810	10,050
H26	¥243,360	9,110
H27	¥521,700	17,390
H28	¥396,180	17,600
H29	¥227,400	15,160
H30	¥127,500	17,360

目標値 15,918
評価 ○

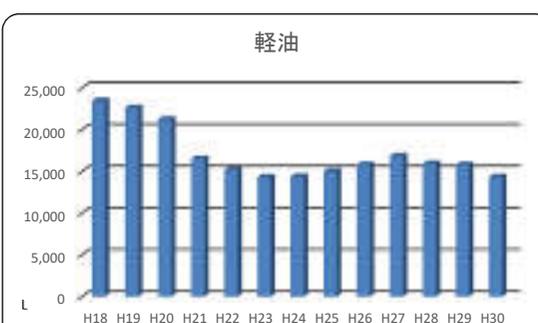
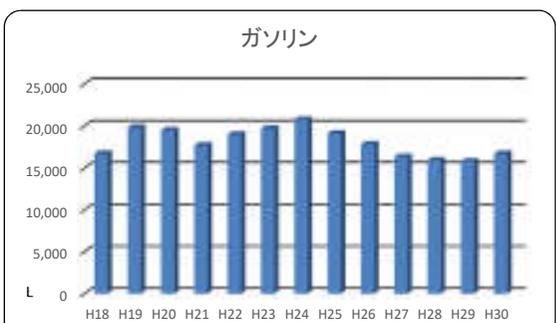
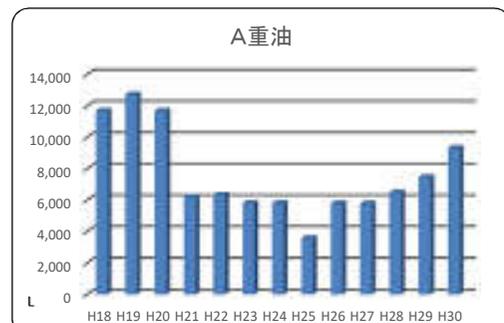
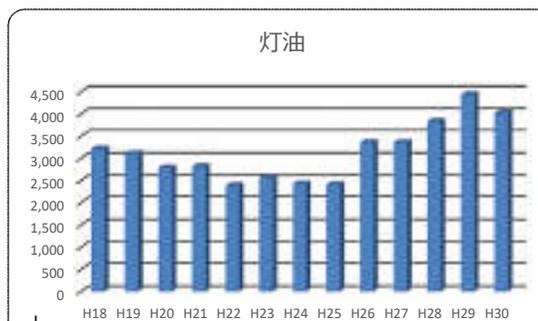
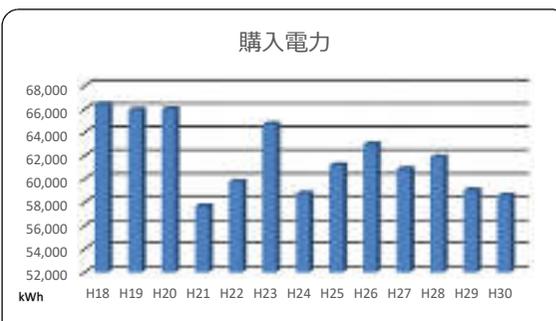
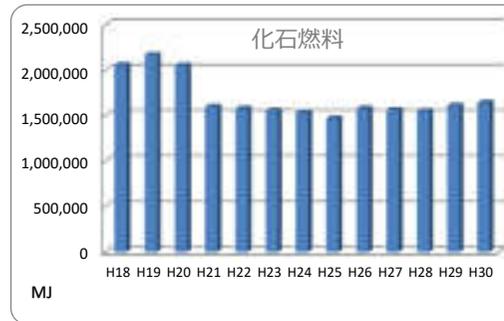
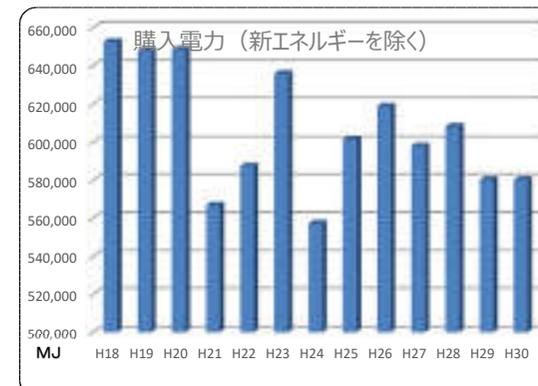
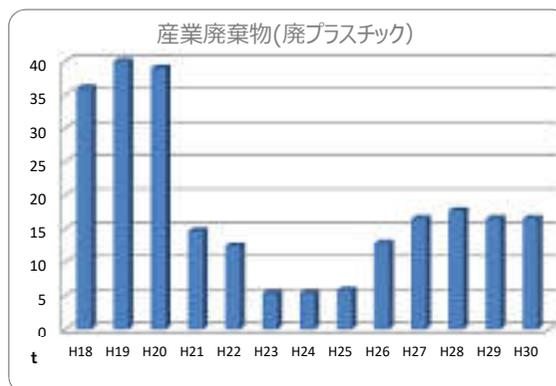
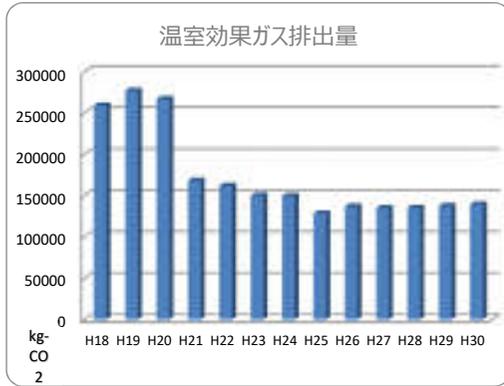
減溶チップ考察 ・今期減容量（17,360kg）と目標値(15918kg)達成出来た。
中国の政策で受け入れが一時的にストップしている影響で、2017.8～@10/ kgとなっている。
総金額では ¥127,500と前年の ¥227,400より▲ ¥99,900となってしまった。



H23	¥725,000
H24	¥790,000
H25	¥613,500
H26	¥537,162
H27	¥776,160
H28	¥665,750
H29	¥658,750
H30	¥661,500
総計	¥5,427,822
年平均	¥678,478
月平均	¥56,540

産廃考察 ・産業廃棄物排出量の目標15.9pに対し今年度は16.25pと目標達成には至らなかった。
・工場繁忙との兼ね合いが強いため、やむを得ない部分もある。使える端材の廃棄を出来るだけ避ける努力
・使える端材の廃棄を出来るだけ避ける等の努力をお願いしたい。

7.EA2.1 経年変化のまとめグラフ (H18~H30.)



環境への負荷		単位	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg-CO ₂	258,971	276,743	266,732	168,032	161,792	149,976	149,447	128,482	136,777	134,874	135,260	137,337
産業廃棄物	廃プラスチック	t	36	40	39	14.64	12.44	5.36	5.34	5.81	12.81	16.5	17.7	16.5
エネルギー使用量	購入電力 (新エネルギーを除く)	MJ	652,643	647,983	648,622	566,856	587,381	635,971	557,384	601,379	618,788	597,949	608,211	580,323
	化石燃料	MJ	2,054,263	2,165,927	2,050,104	1,594,341	1,576,084	1,553,233	1,534,267	1,467,368	1,574,745	1,560,278	1,548,148	1,607,842
	購入電力	kWh	66,393	65,919	65,984	57,666	59,754	64,697	58,737	61,178	62,949	60,829	61,873	59,036
	灯油	L	3,219	3,107	2,790	2,817	2,389	2,564	2,429	2,411	3,361	3,361	3,838	4,438
	A重油	L	11,700	12,730	11,700	6,220	6,350	5,820	5,820	3,590	5,800	5,790	6,490	7,470
	ガソリン	L	16,721	19,847	19,524	17,711	19,001	19,728	20,785	19,152	17,850	16,325	15,942	15,807
	軽油	L	23,454	22,628	21,235	16,543	15,177	14,306	14,387	15,017	15,826	16,843	15,962	15,803

H30.3.7消防訓練実施



事務所にて警報機の説明



事務所にて消火器の取り扱い説明



避難及び緊急時の対応についての説明



工場にて警報機、消火器の説明



大型液体消火器の取り扱い説明



参加者 事務所 社長、三澤専務、山越部長、丸山課長、久保田主任
竹内、熊澤、小林

工場 加藤工場、山口、青木、久保田、寺田、柳澤、小出澤、市川、遠山、斎藤、床尾、降幡、三澤専務

講師 C S K総合防災(株)

H30.4.16灯油・重油流出時の訓練実施

事務所灯油貯蔵タンク前にて



工場灯油・重油貯蔵タンク前にて



参加者

事務所 社長、専務、常務、山越部長、丸山次長、酒井課長、久保田係長、押澤主任、武井、竹内、熊澤、小林

工場 加藤工場長、専務、鈴木

9.環境関連法規への違反、訴訟の有無

法律名	適用項目	要求事項	チェック結果
・廃棄物処理法 ・産廃物の適正な処理の確保に関する条例（長野県）	産業廃棄物（廃プラ）	<ul style="list-style-type: none"> ○産業廃棄物処理基準（法12条） ○産業廃棄物保管基準（法12条） <ul style="list-style-type: none"> ・周囲に囲いを設置 ・所定要件を備えた掲示板を設置 ・ほか保管基準に則した適正な保管 ○産業廃棄物処理委託基準（法12条） <ul style="list-style-type: none"> ・許可業者等に委託 ・許可業者等の事業の範囲（許可品目等）が適切 ・契約書（所定事項の記載、所定書面の添付）の締結、5年間保存 ・ほか委託基準に則した許可業者等への処理委託 ○マニフェスト（産業廃棄物管理票）等（法12条の3、12条の5） <ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物引渡し時のマニフェストの交付（所定事項の記入）、A票の保存（5年間） ・B2（積替えてB4、B6追加の場合あり）、D、E票の返送確認、保存（5年） ・期限内にマニフェストの写しの返送がないなどのときは処理業者から処理困難通知を受けたときは、速やかに処理の状況を把握し、適切な措置を講じる。（定める期限までに知事に報告も） ・マニフェスト交付等状況を知事に報告（毎年6月30日までに）（電子マニフェスト分は不要） ○処理状況の確認等（条例11条、（法12条）） <ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物処理の状況に関する確認と必要な措置 ・上記において、不適正な処理（又はおそれ）のときは、速やかに適切な措置を講じる。（定める期限までに知事に報告も） ○不法投棄、不法焼却の禁止（法16条、16条の2） 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
	一般廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ○一般廃棄物処理委託基準（法6条の2） <ul style="list-style-type: none"> ・許可業者等に委託 ・許可業者等の事業の範囲（許可品目等）が適切 	<input type="radio"/>
・消防法 ・松本市広域連合火災予防条例（限定的に扱う）	少量危険物 指定可燃物	<ul style="list-style-type: none"> ○貯蔵及び取扱いの技術上の基準等の遵守、届出（法9条の4、条例30条～34条の3、51条） 	<input type="radio"/>
水質汚濁防止法	貯油施設	<ul style="list-style-type: none"> ○事故時の応急措置及び届出（法14条の2） 	<input type="radio"/>
フロン排出抑制法	業務用エアコン	<ul style="list-style-type: none"> ○第一種特定製品の管理者の判断の基準となるべき事項（法16条） <ul style="list-style-type: none"> ・四半期に一度の簡易点検など ○フロン類の放出の禁止（法86条） ○第一種特定製品廃棄等実施者の引渡義務（法41条） ○第一種特定製品廃棄等実施者による書面の交付等（法43条） ○引取証明書（法45条） ○費用負担（法74条） 	<input type="radio"/> <input type="radio"/>
労働安全衛生法（限定的に扱う）	化学物質等	<ul style="list-style-type: none"> ○安全衛生推進者の選任（法12条の2） ○危険・健康障害防止措置（法20条～36条） ○危険物、有害物の規制 <ul style="list-style-type: none"> ・名称等の表示等（法57条） ・文書の交付等（SDS）（法57条の2） ・リスクアセスメント（法57条の3） ○安全衛生教育（法59条、60条） ○健康診断等（法66条～66条の6、66条の8） ○報告等（法100条） ○法令等の周知（法101条） ○書類の保存等（法103条） 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
松本市公害防止条例	騒音（送風機）	<ul style="list-style-type: none"> ○公害発生時の措置（条例11条） ○監視（条例12条） ○規制基準の遵守義務（条例13条） 	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>

弊社にて関係法令遵守状況を再度チェックを行い違反が無いことを確認した。
また関係機関・近隣住民からの指摘などは無く、また訴訟等は1件も無かった。

10.環境活動の見直し

<p>廃棄物</p>	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物排出量の目標15.9 tに対し今年度は16.31 tと目標達成には至らなかった。 今期減容量 (17,360kg) と目標値(15918kg)達成出来た。 中国の政策で受け入れが一時的にストップしている影響で、2017.8～@10/ k gとなっている。 総金額では ¥ 127,500と前年の ¥ 227,400より▲ ¥ 99,900となってしまった。 目標達成には程遠い数値である (事務所+3,270枚 工場+7,147枚) イメージウェアを最大限活用し無駄な印刷を無くていかないと増加に歯止めがかららない。 今後、「モニターを2台使用し印刷を抑える事が出来る」かも検討していく必要がある。 品質管理課長のおかげで倉庫の整理、型の管理が徹底してきている。 今後は、効率面を重視しバッファー在庫を持つことも視野に入れる。
<p>二酸化炭素排出量の削減</p>	<ul style="list-style-type: none"> 二酸化炭素排出量は目標達成には至らなかった。6258/kg-CO₂オーバーしてしまった。 電気では5%削減の目標達成には至らなかったが、工場では3%、事務所では1.7%の削減となった。 工場の繁忙を考慮するとLEDの効果が表れた結果とも言える。 来期はLEDの恩恵が無くなるので残業時間の削減等、抜本的な改善が必要と思われる。 軽油に関しては配送の努力のおかげで目標達成出来た。稼働しているトラック3台をリプレースした結果も大いに関係している。 ガソリンは営業車が1台増えたことにより目標達成には程遠い数字であった。(+669 ℓ) 灯油は今年も目標達成には至らなかった。 工場では前年よりも2 ℓ 少なかったが、尚も高値をキープしてしまった。 事務所では、灯油タンクに半分以上残があり前年の残に左右される。給油のタイミングが難しい。
<p>水使用量の削減</p>	<ul style="list-style-type: none"> 112㎡も増えてしまった。特に4期の工場が前年36㎡に対し58㎡と+22㎡と突出して増えている。 人員増加の影響とも思われるが、それにしても過多感否めない。
<p>化学物質の管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> 化学物質管理規定に基づき管理できた。
<p>法令等の遵守</p>	<ul style="list-style-type: none"> 法令の調査、リスト作成および関係法令の周知及び順法の徹底 緊急時の訓練を年1回実施した。今年度は灯油、重油の流出時の訓練も行うことが出来た。
<p>環境教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 社員の意識を高め、無理・無駄をなくした環境経営を確立する 今期7月より品質向上委員会を発足し2年を迎えた。効果は着実に実を結んで来ている。 来期もアドバイザーの小穴さんに月一回のみQC会議に出席頂きアドバイスを請う。
<p>環境負荷の少ない商品の開発</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今期も工場間の通い箱も何件か受注できた。 今後も継続的に提案を行う。 グリーン購入リストに従い弊社使用文具の購入を行う。

11.代表者のコメント

歴史的な米朝首脳会議が行われ、アメリカ・北朝鮮間の緊張も和らぎ、一安心という世界情勢でありましたが、新たにアメリカの保護主義を発端とした中国・アメリカ間の貿易戦争が始まり、これからの世界経済の見通しも再び不透明な状況となっております。今後の中国・アメリカの動きが心配なところであります。

そんな中、弊社は昨年度も好況な自動車業界・半導体業界の恩恵を受け、好業績で推移する事が出来ました。このお客様の動きはまだまだ続く事が予想されます。

今年度は、お客様の増産のニーズに応えるため、如何に生産効率を上げていくかが最大の課題となっております。

近年の受注増により二酸化炭素排出量は昨年度も増えてしまいましたが、照明のLED化、エアコンの新型機へのリプレース、大型トラックのリプレース等の設備投資の効果は出てきております。

今年度は、更に品質向上活動を進め、ムリ・ムダを省き生産効率をアップさせ、電気使用量等の削減に繋がりたいと思います。

エコアクション21の2017年度版への移行の取り組みもスタートさせて戴きました。

経営方針と環境方針を統合し、環境保全活動を弊社の強みとして生かせる様に、社員全員でアイデアを出し合って、今年度も環境保全活動のレベルアップを進めていきます。

平成30年8月1日

株式会社ミカサ

代表取締役社長

三澤 敏宏